

具体的取り組み内容

## 食育の推進

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

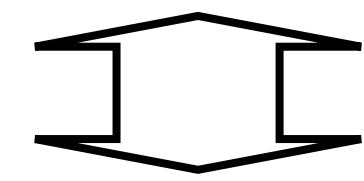
1) 家庭における食育の推進

【成果指標】

No.	項目	H24 基準値	H30 目標	
1	食育に関心がある市民の割合	73.4%	90%	
2	「朝食又は夕食を家族と一緒に食べる共食の回数の増加」 * 1週間のうち朝食又は夕食を家族と一緒に食べる回数	10回	さらに増加	
3	1週間あたりの朝食について  * 幼児は「毎日食べる割合」  * 他は「ほとんど食べない」と答えた割合	幼児	95.3%	100%
		小学5年生	※0.9%	0%
		中学2年生	※2.0%	0%
		20代男性	29.4%	15%
		30代男性	29.4%	15%
		65歳以上	3.7%	0%

【取り組むべき施策】

- 1) 「食卓」の重要性についての啓発
- 2) 食を楽しむことについての啓発
- 3) 子どもの頃からの体験を通じた食育
- 4) 高齢者の食の自立を目指した食育
- 5) 男女共同参画による食育の推進



※H23年度数値

【具体的な取り組み(行政)】

No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	1次計画(H24)実績	評価指標等		進捗状況等	
						H30 目標	H25 実績	H26 実績	H26 業務内容等
1	ひごっこすくすくマップ(携帯版)	子ども支援課	保護者を対象に食生活等の生活習慣の大切さを啓発するガイドブックを作成配布。	配布数	9,000部	—	10,000部	10,000部	各相談連絡先を掲載し、「朝食を食べる」等の生活習慣の大切さを啓発する携帯型ガイドブックを作成配布。
2	年齢別連続育児講座(0、1歳コース)	各区役所 保健子ども課	年(月)齢毎の発達段階に沿った「食育の進め方」を栄養士により講話。	—	実施	継続実施	実施	実施	0歳児コース、1歳児コースそれぞれで実施。
3	乳幼児ママパパ教室	子ども支援課	保育所、幼稚園、地域の子育てグループ等の学習会へ講師を派遣し、保護者等に家庭や両親の在り方、子どもの心身の成長やしつけ等、家庭教育についての学習機会を提供。	学習会への参加者数	9,216人	継続実施	8,621人	9,134人	保育所、幼稚園、地域の子育てグループ等の学習会へ講師を派遣し、保護者等に家庭や両親の在り方、子どもの心身の成長やしつけ等、家庭教育についての学習機会を提供する。
4	プレママ・パパ教室(両親学級)	子ども支援課	妊婦を対象に保育体験を行い離乳食の試食を行う。	—	実施	継続実施	実施	実施	離乳食体験を行わず先輩バママとの懇談会を行う。
5	介護予防事業	高齢介護福祉課 各区役所関係課	【一次予防事業】 ・地域の高齢者を対象とした、低栄養予防や食生活改善のための健康教育等の実施。 ・啓発パンフレットの作成、配布。 ・介護予防活動	実施回数	2,249回	継続実施	2,883回	1,237回	・高齢者サロン等における健康相談や健康教育等の実施 ・介護予防普及啓発パンフレットの作成 ・ボランティア養成講座の実施

No.	名 称	関係部署名	内 容	評価指数	1次計画(H24)実績	評価指標等		進捗状況等		
						H30 目標	H25 実績	H26 実績	H26 業務内容等	
5	介護予防事業	高齢介護福祉課 各区役所関係課	【二次予防事業】 ・栄養状態や口腔機能の低下がみられる方を早期に発見し、状態悪化を予防するための指導や機能訓練等を実施。	参加人数	529人	継続実施	2,013人	416人	・機能低下がみられる方（二次予防事業対象者）の適切な把握 ・把握した二次予防事業対象者に対し、介護予防プログラム（栄養改善事業・口腔機能向上事業）の実施。	
6	精神障がい者サロン、当事者勉強会	障がい保健福祉課 各区役所福祉課	精神障がい者サロン、当事者勉強会の調理実習、会食等の際、食について考える。	実施回数	84回	継続実施	24回	18回	精神障がい者社会復帰相談指導事業。	
7	乳幼児経過観察健診	子ども支援課 各区役所保健子ども課	子どもの発育・発達状況に応じた指導を行う。	受診率	100%	100%	100%	100%	子どもの発育・発達状況に応じた指導を行う。	
8	妊婦健康診査	子ども支援課	委託医療機関において妊婦の健康診査を行い、必要に応じて栄養指導等を行う。	受診率	98.6%	100%	98%	99%	早産予防など妊婦の健康管理の充実や経済的な負担の軽減を図り、安心して妊娠・出産できる環境を整えるため、受診券を交付し、健康診査費用を助成する。	
9	3か月児健康診査	子ども支援課	委託医療機関において乳児（3か月児）の健康診査を行い、必要に応じて栄養指導等を行う。	受診率	97.7%	100%	96%	97%	乳児の栄養状態、精神、運動機能の発達等を診察し、疾病又は障がいの早期発見や育児不安の解消を図る。また、あわせて生活、離乳、予防接種についての指導を行う。	
10	7か月児健康診査	子ども支援課	委託医療機関において乳児（7か月児）の健康診査を行い、必要に応じて栄養指導等を行う。	受診率	93.4%	100%	95%	95.7%	乳児の栄養状態、精神、運動機能の発達等を診察し、疾病又は障がいの早期発見や育児不安の解消を図る。また、あわせて生活、離乳、予防接種についての指導を行う。	
11	妊婦一般健康診査事後指導	子ども支援課 各区役所保健子ども課	委託健診を実施し、医師の指示により健診後のフォローとして栄養指導を行う。	フォロー率	100%	100%	100%	100%	委託健診を実施し、医師の指示により健診後のフォローとして栄養指導を行う。	
12	3・7か月健康診査事後指導	子ども支援課 各区役所保健子ども課	委託健診を実施し、医師の指示により健診後のフォローとして栄養指導を行う。	フォロー率	100%	100%	100%	100%	委託健診を実施し、医師の指示により健診後のフォローとして栄養指導を行う。	

No.	名 称	関係部署名	内 容	評価指数	1次計画(H24)実績	評価指標等		進捗状況等		
						H30目標	H25実績	H26実績	H26 業務内容等	
13	1歳6か月児健康診査	子ども支援課 各区役所 保健子ども課	幼児期の食生活について指導を行い、手作りおやつを試食を行う。	受診率	96.70%	100%	96%	97.1%	幼児期の食生活について指導を行い、手作りおやつ（試食）の配布・説明を行う。	
14	3歳児健康診査	子ども支援課 各区役所 保健子ども課	幼児期の食生活について指導を実施	受診率	93.70%	100%	94%	96.4%	幼児期の食生活について指導を行う。	
15	保育所・給食体験	子ども支援課 子育て支援センター	素材を大切にしたり食材の選び方や楽しく食べる方法等を親子での保育体験を通して、同年齢の子どもの給食見学や試食により学習してもらう。	—	実施	継続実施	実施	実施	保育園と連携、毎月 離乳食体験、幼児食体験実施する。	
16	小児生活習慣病予防検診	健康教育課	小児期の肥満に早期に対応し、小児生活習慣病に関する意識の高揚を図るため、小学4年生の肥満度20%以上の児童に対して、検診と保護者への指導を実施している。	肥満度20%以上の児童の割合	小学生6.8% 中学生8.1%	減少	小学生7.1% 中学生7.8%	小学生7.2% 中学生8.2%	肥満度20%以上の児童に対して、検診と保護者への指導を実施している。	

【具体的な取り組み(関係団体)】

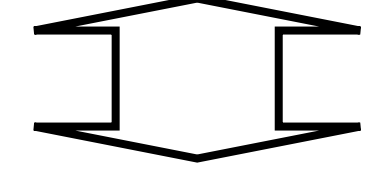
名 称	関係団体名	H26 取り組み内容	H26 実績	今後の予定
保健事業における健康づくり支援	熊本県総合保健センター	食の安全安心確保を意識した指導、教室を実施 ①特定保健指導 (積極的支援及び動機づけ支援) ②健康相談 ③栄養指導 ④ヘルシーな健康料理教室&セミナーの開催 セミナー：血圧と塩分との関係 実 習：1食600kcal、塩分2gのメニュー	①積極的支援30件 動機づけ支援135件 ②3件 ③288件 ④5回開催	H27年度も食の安全安心確保を意識した指導、教室を実施予定。 1、①の継続と実施数の維持 2、②③④の継続
熊本市子ども文化会館歯科健康講座	熊本県歯科衛生士会	講話：テーマ「むし菌をつくらない健康なお口にしよう」 仕上げみがき実技指導	平成26年5月29日 子ども文化会館 乳幼児と保護者24組	継続実施

I「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

2) 学校・保育所・幼稚園等における食育の推進 ～経験から学ぶ食の大切さ～

【成果指標】

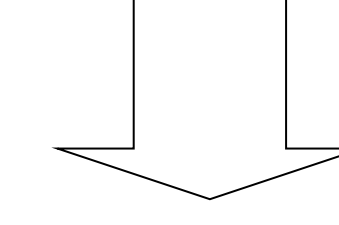
No.	項目		H24 基準値	H30 目標
4	体験型食育活動の取り組み(実施園数/全施設数) 【保育園】	公立	※100%	100%
		私立	※ 90.4%	
5	体験型食育活動の取り組み(実施園数/全施設数) 【幼稚園】	公立	100%	100%
		私立	100%	
6	授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合		※48.5%	60%



※H23年度数値

【取り組むべき施策】

- 6) 保育所・幼稚園等における食育の推進
- 7) 小・中学校における食育の指導体制及び内容の充実
- 8) 学校給食の充実



【具体的な取り組み(行政)】

No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	1次計画(H24)実績	評価指標等		進捗状況等	
						H30 目標	H25 実績	H26 実績	H26 業務内容等
17	保育所での体験型食育	保育幼稚園課	園庭などで稲や野菜の栽培・収穫、日常の献立における調理実習や食生活改善推進員とのクッキング等を実施。	—	実施	継続実施	実施	実施	園庭などで稲や野菜の栽培・収穫など。
18	保育所給食における給食実物等の展示	保育幼稚園課	家庭に日々の給食内容を知らせるとともに、食べ物について、園児と保護者との会話を促す。	実施率	公立100% 私立80% (私立131園中105園)	継続実施	公立100% 私立80% (私立131園中105園)	公立100% 私立84% (私立134園中112園)	研修会で給食実物展示による食育の目標や効果について説明。
19	「食育だより」の発行	保育幼稚園課	献立表と一緒に毎月「食育だより」を発信。	食育だよりを発行する園の割合	公立100% 私立95% (私立131園中124園)	100%	公立100% 私立95% (私立131園中124園)	公立100% 私立95% (私立134園中127園)	献立表と一緒に毎月「食育だより」を発信
20	保護者の保育参観	保育幼稚園課	保育所で提供している給食の試食と保育所給食の説明。	—	実施	継続実施	実施	実施	保育参観(保育参加)時に給食の説明と試食会を行う。
21	「食育の日」の実践と食に関する指導資料集(給食時間)の作成	健康教育課	市産品を使用した献立を実施し、児童・生徒に指導するための資料集(給食時間)を作成し、全校に配付している。	—	実施	継続実施	実施	実施	指導資料集を配布。

No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	1次計画(H24)実績	評価指標等			進捗状況等
						H30目標	H25実績	H26実績	H26 業務内容等
22	「給食だより」や「食育だより」の発行	健康教育課	「給食だより」や「食育だより」を発行し、児童、保護者への食に関する啓発を行う。	たよりを発行する学校数の割合	100%	100%	100%	100%	農業体験活動（野菜づくり、米栽培・収穫など）や加工食品（みそ）などの体験活動を各学校で実施。
23	生活習慣改善啓発パンフレットの作成・配布	健康教育課	生活改善パンフレットを保護者に配布することにより、基本的な生活習慣について啓発している。	作成配布	実施	継続実施	実施	実施	夏季休業中に献立の検討研修会を実施。
24	健康手帳（小中学生用）の作成・配布・活用	健康教育課	肥満傾向にある子どもに対し、健康手帳を活用し家庭と連携した指導を行うことにより、小児生活習慣病の減少をめざしている。	作成配布	実施	継続実施	実施	実施	老人会、民生委員児童委員、学校評議員などを対象に各学校でふれあい給食会を実施。
25	わくわく楽しい学校給食作品展	健康教育課	給食に関する児童生徒の作品を展示。	作品展の実施	実施	継続実施	実施	実施	作文、絵画、習字、給食献立の各部門において表彰・作品展示を行う。

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体名	H26 取り組み内容	H26 実績	今後の予定
わんぱく祭り	熊本市保育園連盟	わんぱく祭りではないが、雑草の森まつりの一環で春日ぼうぶらコンテストあり。給食部会担当ではないが、4月に種を配布し大ききコンテストを11月に行う。	種まきから生育状況観察、収穫と一連の観察記録を掲示。と同時に春日ぼうぶらの重さ比べ。表彰あり。賑やかなひとときでした。	今年も南瓜コンテストの予定
小学校歯磨き巡回指導	熊本県歯科衛生士会	講話 むし菌・歯肉炎の原因と予防方法を学ぶ。好き嫌いしないで、よくかんで食べる。おやつは、時間と量をきめて食べる。食べたらずを磨く。 歯磨き実技指導	平成26年6・11月 10校 1年生2学級・3年生20学級・4年生20学級 児童数539人 特別支援学級6校 児童数44人及び保護者	継続実施

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

3) 職場・大学等における食育の推進

【成果指標】

No.	項目	H23 基準値	H30 目標
7	企業、大学等での食育に関する講座の開催(件数)	19件	30件

【取り組むべき施策】

9) 従業者・大学生等に対する食育の推進
10) 事業者から発信する食育

【具体的な取り組み(行政)】

No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	1次計画(H24)実績	評価指標等		進捗状況等	
						H30 目標	H25 実績	H26 実績	H26 業務内容等
26	ふれあい出前講座	生涯学習推進課	市及び関係行政機関等の職員が講師として地域や学校に出向き、業務の説明や専門知識を活かした講話や実習等を行う。	ふれあい出前講座「食育講座」開催数	30回	40回	31回	21回	市及び関係行政機関等の職員が講師として地域や学校に出向き、食育に関する業務の説明や専門知識を活かした講話や実習等を行う。
27	中食を中心とした食生活改善マニュアルの活用	健康づくり推進課	食の乱れが著しい高校生・青年期をターゲットとし、中食の上手な利用方法・組み合わせ等を提案する。	マニュアル活用	実施	継続実施	実施	実施	すでに作成したマニュアルを活用し、啓発に努める。
28	食育実践講座の開催	健康づくり推進課 各区役所 保健子ども課	食の乱れが著しい若い世代に対し大学等と連携し啓発。メタボリックシンドロームが増加する働き盛り世代に職域等と連携し啓発。やせ願望等による欠食・偏食等の女性、その他生活習慣病の予防を目的とし、食事バランスガイドやエクササイズガイドを用いて実践力アップを目指す。	開催件数	25件	30件	28件	23件	学食や社員食堂等にメニューの栄養成分表示や「食事バランスガイド」を掲示するなど、従業者等への食育活動や食育実践講座を実施。 大学等 23件 1,831人 職域 6件 75人

II 健全な食生活を実践するための環境整備

1) 日本型食生活の実践に向けた情報の発信

【成果指標】

No.	項目	H24 基準値	H30 目標
8	栄養に関する表示等を参考にしている市民の割合	69.0%	80%
9	内臓脂肪症候群の予防や改善のために適切な食事、定期的な運動、定期的な体重測定を継続的に実践している市民の割合	27.7%	50%

【取り組むべき施策】

11) 「食事バランスガイド」「食事ガイド」等を活用した食生活の実践への支援 12) 区役所保健子ども課等における食育に関する普及啓発活動の推進 13) 生活習慣病予防等についての啓発
--

【具体的な取り組み(行政)】

No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	1次計画(H24)実績	評価指標等		進捗状況等	
						H30 目標	H25 実績	H26 実績	H26 業務内容等
29	すこやか食生活改善講習会	健康づくり推進課 各区役所 保健子ども課	小学校区ごとに生活習慣病予防を目的とした献立の普及を図る調理実習や食事バランスガイドの啓発を行う	すこやか食生活改善講習会参加者数(延べ)	39,027人	39,500人	41,220人	43,418人	中央区：461人 西区：325人 北区：450人 東区：487人 南区：475人
30	育児教室	子ども支援課 各区役所 保健子ども課	4～5か月児(第1子)の発育・健康増進のための情報を提供	参加者数	771人	継続実施	838人	976人	4～5か月児(第1子)の発育・子育てのための情報を提供。また、離乳食の試食を通して指導を行う。
31	両親学級	子ども支援課 各区役所 保健子ども課	妊婦とその夫などに妊娠期・授乳期の望ましい生活習慣等の指導を行う。	参加者数	530人	継続実施	418人	547人	妊婦とその夫などに妊娠期・授乳期の望ましい生活習慣等の指導を行う。
32	妊産婦健康相談	子ども支援課 各区役所 保健子ども課	妊産婦の食生活について指導を行う。	参加者数	4,125人	継続実施	4,146人	4,039人	妊産婦の食生活について指導を行う。
33	育児相談	子ども支援課 各区役所 保健子ども課	乳幼児の食生活について指導を行う。	参加者数	2,689人	継続実施	3,164人	2,980人	乳幼児期の食生活についての指導を行う。
34	ピカピカカミカミ教室	子ども支援課 各区役所 保健子ども課	幼児期におけるむし歯予防のための食習慣の講話・おやつ試食、ブラッシング指導	参加者数	607人	継続実施	534人	537人	1歳～1歳5か月児をもつ保護者に対し、むし歯予防のための食習慣の講話、おやつ試食、ブラッシング指導等を行う。
35	公立児童発達支援事業	保育幼稚園課	公立保育所における児童発達支援を利用する障害児とその保護者を対象とした栄養相談・指導	参加者数	3,728人	増加	4,431人	5,747人	児童発達支援ルームの利用者への給食の提供を通じた食事に関する助言とその保護者を対象とした栄養相談・講話



No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	1次計画(H24)実績	評価指標等		進捗状況等	
						H30目標	H25実績	H26実績	H26 業務内容等
36	40～64歳の健康教育	各区役所 保健子ども課	40～64歳の市民に対し、生活習慣病予防のためや健康づくりに関する知識の普及・啓発を行う。	参加人数	※1 12,072人	継続実施	※2 16,949人	12,848人	40～64歳の市民に対し、生活習慣病予防のためや健康づくりに関する知識の普及・啓発を行う。
37	40～64歳の健康相談	各区役所 保健子ども課	40～64歳の市民に対し、個人個人の生活習慣や食習慣に応じて、生活習慣病予防や健康づくりに関する助言・相談を行う。	参加人数	※1 6,446人	継続実施	※2 7,475人	13,464人	40～64歳の市民に対し、個人個人の生活習慣や食習慣に応じて、生活習慣病予防や健康づくりに関する助言・相談を行う。
38	栄養成分表示実施店舗の紹介	健康づくり推進課 各区役所 保健子ども課 食品保健課	栄養成分表示店舗の紹介・広報	店舗数	11店	25店	10店	10店	栄養成分表示店舗の紹介・広報（熊本市ホームページ、ポスター掲示等）
39	CKD対策事業	健康づくり推進課 各区役所 保健子ども課	適切な食生活を実践することで、CKD予防を図り、新規人工透析者の減少を目指す。	新規人工透析者数	266人	H26目標 200人	260人	251人	CKD予防教室の開催。医療機関への受診勧奨等。
40	食に関するホームページへの情報掲載	食品保健課 健康づくり推進課	食に関する役立つ情報を提供	アクセス数	172,927人	増加	282,547人	215,395人	食のホームページ掲載回数 【安全安心のひろば】のべ157回 【食育のひろば】のべ10回
41	食育に関する全市の広報	健康づくり推進課	市政だより、ラジオ等を使った市民への啓発	実施回数	7回	増加	7回	10回	市政だより、ラジオ等を使った市民への啓発を実施。

※1 平成24年度実績値について、算出誤りによる実績値の修正

※2 平成25年度実績値について、算出誤りによる実績値の修正

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	H26 取り組み内容	H26 実績	今後の予定
食事バランスガイド地域普及講習会	熊本市食生活改善推進員協議会	食事バランスガイドについて、地域住民に対して啓発を行う。	地域住民に実施	継続実施
生涯骨太クッキング	熊本市食生活改善推進員協議会	配布テキストの中から、数種の献立を選び、調理実習による普及講習会を実施（牛乳・乳製品の摂取を高めるための食生活改善講習会を担当支部を決めて実施）	平成26年10月10日実施。 参加者：20人	継続実施
CKD対策事業 かかりつけ医と栄養士との栄養連携システム	熊本県栄養士会	熊本市医師会と熊本県栄養士会の連携による栄養指導を行った。	熊本市隣接市町村の診療所での栄養指導 1,330件	継続実施

II 健全な食生活を実践するための環境整備

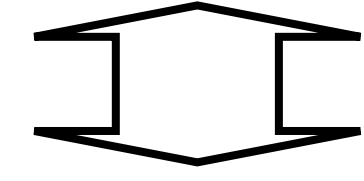
2)食生活改善をサポートする人材の育成

【成果指標】

No.	項目	H24 基準値	H30 目標
10	食育の推進に関するボランティア数	1,208人	1,600人

【取り組むべき施策】

14)管理栄養士、栄養士、専門調理師等、専門的知識を有する人材の育成と活用促進  
15)食生活改善推進員等、地域支援者の育成



【具体的な取り組み(行政)】

No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	1次計画(H24)実績	評価指標等		進捗状況等	
						H30 目標	H25 実績	H26 実績	H26 業務内容等
42	栄養士・管理栄養士養成施設実習生受け入れ	各区役所 保健子ども課	管理栄養士等養成施設からの依頼により、実習生が公衆栄養の実践活動の場における課題発見・解決を通して管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援。	受入数	40人	継続実施	40人	40人	管理栄養士等養成施設からの依頼により、実習生が公衆栄養の実践活動の場における課題発見・解決を通して管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援。
43	栄養士・管理栄養士養成施設臨地実習および校外実習生受け入れ	健康教育課	管理栄養士等養成施設からの依頼により、実習生が学校給食における課題発見・解決を通して管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援。	受入数	94人	継続実施	79名	64人	管理栄養士等養成施設からの依頼により、実習生が学校給食における課題発見・解決を通して管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援。
44	栄養教諭養成施設教育実習生受け入れ	指導課 健康教育課	栄養教諭養成施設からの依頼により、栄養教諭として児童・生徒の発育に必要な栄養状態の管理や、学校における食に関する指導に必要な知識・技能を習得することを支援。	受入数	5人	継続実施	7人	4人	栄養教諭養成施設からの依頼により、栄養教諭として児童・生徒の発育に必要な栄養状態の管理や、学校における食に関する指導に必要な知識・技能を習得することを支援。
45	栄養士及び調理師対象の衛生教育	食品保健課	研修会を開催し、厚生労働省の指導方針や最新の栄養情報、健康づくりや衛生管理等に関する情報を伝達。	受講者数	729人	700人	423人	293人	調理師研修会 1回 栄養管理研修会 2回 合同研修会 1回 を開催
46	食品情報の迅速で正確な収集と発信 (食品安全情報ネットワーク)	食品保健課	市民及び食品関連事業者に対して、市ホームページ・市報及び各種メディアなどの広報媒体を通じて正確な情報を発信。	情報提供回数	33回	24回以上	34回	32回	対象：29団体（155店舗H27.3月末現） うち定期情報：12回（検査） 12回（自主回収・苦情） 緊急情報：1回（食中毒注意報） 臨時情報：7回（各種案内）

No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	1次計画(H24)実績	評価指標等			進捗状況等	
						H30目標	H25実績	H26実績	H26 業務内容等	
47	食育担当者等研修会・栄養教諭・学校栄養職員研修会の実施	健康教育課	食育担当者等を対象として食育推進体制の整備や食育全体計画策定等の研修会を開催。また栄養教諭・学校栄養職員を対象として授業力向上等の研修会を行う。	開催回数	実施食育担当者研修会(202人) 栄養教諭・学校栄養職員研修会(70人)	継続実施	2回	2回	食育担当者等を対象として食育推進体制の整備や食育全体計画策定等の研修会を開催。また栄養教諭・学校栄養職員を対象として専門性を高める研修会を実施した。	
48	地域歯科保健研修会等の開催	健康づくり推進課	口の健康に対する市民意識の向上を図ることを目的に、口の健康づくりに必要な情報を提供する。	口の健康に満足している市民の割合	31.0%	40%	33.1%	29.1%	地域歯科保健研修会 1回	
49	食生活改善推進員全体研修会	健康づくり推進課 各区役所 保健子ども課	講話やグループワーク等で食生活改善のボランティア活動時に活用する知識を習得。	参加者数	565人	継続実施	390人	329人	食に関する専門家等の講演、講話等で食生活改善のボランティア活動時に活用する知識の習得を図る。	
50	食生活改善推進員各区研修会	各区役所 保健子ども課	食生活改善推進員を対象として、新人研修、スキルアップ研修、すこやか食生活講習会のための調理実習等ボランティア活動に関するより具体的技術と知識を習得するための研修会の開催	参加者数	3,032人	増加	3,739人	3,778人	食生活改善推進員を対象として、新人研修、スキルアップ研修、すこやか食生活講習会のための調理実習等ボランティア活動に関するより具体的技術と知識を習得するための研修会の開催。	
51	※3 食生活改善推進員養成講座(すこやかくまもと栄養セミナー)の開催	健康づくり推進課 各区役所 保健子ども課	地域における食育地域リーダーとして食生活改善推進員の育成。	育成数	-	継続実施	92人	85人	食生活改善推進員養成講座の実施	
52	※3 8020推進員育成講座の開催	健康づくり推進課 各区役所 保健子ども課	8020運動を推進する市民ボランティアの育成。	育成数	-	継続実施	60人	73人	8020推進員育成講座の実施	

※3 平成25年度実績値から新規に追加

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	H26 取り組み内容	H26 実績	今後の予定
調理師全体研修会及び保育士、調理師合同研修会	熊本市保育園連盟	肥後野菜、伝統料理の研修を行い、地産地消について考え現場で活かす	・肥後野菜の特徴を知り、使用方法等の講話を聴けて、使ってみたいと思った。 ・少しずつでも給食に取り入れていきたいと思った。との声が多数あった。	「豊かな食の裏側にある食品添加物」と題して食品添加物の講演を予定し、食品添加物の知識を高める。
CKD対策	熊本県栄養士会	CKD及び関連疾病に対応した研修会を開催。	スキルアップのための学習会 150分×11回	

II 健全な食生活を実践するための環境整備

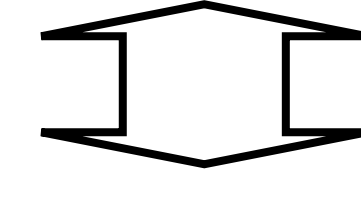
3) 食品関連事業者等と連携した食育の推進

【成果指標】

No.	項目	H24 基準値	H30 目標
8	栄養に関する表示等を参考にしている市民の割合 【再掲】	69.0%	80%

【取り組むべき施策】

16) 飲食店や食品販売店におけるヘルシーメニューの提供促進
17) 食品工場見学等、体験を通じた食育情報の提供
18) 事業者等に対する食育の普及啓発の促進



【具体的な取り組み(行政)】

No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	1次計画(H24)実績	評価指標等		進捗状況等	
						H30 目標	H25 実績	H26 実績	H26 業務内容等
53	健康くまもと21推進事業(健康づくりできます店)	健康づくり推進課 食品保健課	地産地消、栄養成分表示など健康づくりに積極的に取り組む飲食店等の認知と市民への周知を図る。	登録店舗数	110店	200店	78店	130店	栄養表示やバランスメニューの提供、健康づくりに関する情報発信等、市民の健康づくりへの取り組みを支援する飲食店等を登録などの啓発を実施。
54	食品関連事業者向け研修会の開催	健康づくり推進課	食育を推進するための民間団体(主に食品関連事業者)向けの研修会	参加者数	40人	増加	49人	167人	健全な食生活を実践するための環境整備の重要性を広く食品関連事業者へ伝えるため、講演会を開催。
55	食品関連事業者等への支援	健康づくり推進課 各区役所 保健子ども課	食事バランスガイド等を使った啓発を行う食品関連事業者を増やすための支援	実施施設数	11店	増加	10店	10店	食事バランスガイド、栄養表示を使った市民への情報提供を行う食品関連事業者へ支援を実施。

Ⅲ 市民運動としての食育の推進

1) 市民協働によるくまもと食育市民運動の展開

【成果指標】

No.	項目	H24 基準値	H30 目標
1	食育に関心がある市民の割合 <b>【再掲】</b>	<b>73.4%</b>	<b>90%</b>
11	食生活面で「くまもとらしさ」を感じたことのある市民の割合	<b>52.9%</b>	<b>65%</b>

【取り組むべき施策】

19) 食育推進に関する機運の醸成
20) 関係団体と連携した食育運動の展開

【具体的な取り組み(行政)】

No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	1次計画(H24)実績	評価指標等		進捗状況等	
						H30 目標	H25 実績	H26 実績	H26 業務内容等
56	健康くまもと21推進(健くま塾)	健康づくり推進課	若者のための食育をはじめとし、子育てやスポーツなど多方面から市民の健康づくりの支援を行う。	開催回数	13回	継続実施	7回	6回	若者のための食育をはじめとし、子育てやスポーツなど多方面から市民の健康づくりの支援。
57	8020推進員活動支援事業	健康づくり推進課 各区役所 保健子ども課	8020推進員による地域ボランティア活動を支援する。	地域活動件数	407件	増加	509件	411件	8020推進員による地域ボランティア活動を支援する。 8020推進員の合同研修の開催。
58	食生活改善推進員地区組織活動の支援	健康づくり推進課	役員会、リーダー会の開催並びに地域で行う食生活改善活動(食文化伝承活動含む)に関する助言指導を行う。	支援数	63,438人	65,000人	64,460人	60,331人	役員会、校区リーダー会の開催並びに地域で行う食生活改善活動に関する助言・指導の実施。
59	熊本市民健康フェスティバル	健康づくり推進課	健康づくりを目的とするイベントにおいて、食生活改善推進コーナーを設け、食育に関する情報提供や啓発活動を行う。	来場者数	17,479人	20,000人	18,990人	18,886人	健康づくりを目的とするイベントにおいて、食生活改善推進コーナーを設け、食育に関する情報提供や啓発活動の実施。
60	くまもと食農応援団活動への支援	農商工連携推進課 各区役所 農業振興課	収穫体験ツアー等の「くまもと食農塾」への参加をとおして更なる農業理解を図る。	活動支援	実施	継続実施	実施	継続実施	NPO法人化した食農応援団と協力し、更なる農業理解を図る。
61	食育に関する消費者セミナーの実施	商工振興課(消費者センター)	市民対象にした食育に関する啓発を行う。 夏休み親子食育セミナー	セミナー参加者数	58人	継続実施	81人	40人	(1)「楽しく食べて健康に」をテーマとした、一般消費者対象に開催 (2)「食品の流通などについて」をテーマとし、小学校高学年と保護者を対象に、夏休みに田崎市場にて開催。
62	農産物フェア(秋のふれあい収穫祭等)開催事業への支援	農商工連携推進課 各区役所 農業振興課	農畜産物の展示即売及び生産者と消費者の触れ合いの場を創出。(熊本市の農畜産物紹介、旬の野菜・果物の試食及び料理紹介、花を用いた装飾及び品種の紹介、野菜・果実・水産物・花束・鉢物等の販売)	開催事業への支援	実施	継続実施	実施	継続実施	イベントの場所や期間を検討し、より良いフェアの開催。
63	食と健康フェア	健康づくり推進課	食育に関する市民啓発を行い、市民運動として食育を推進する。	開催回数	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	食育月間(6月)の初旬、熊本市動植物園(植物ゾーン)にて食育に関する市民啓発のためのイベントを開催。

Ⅲ 市民運動としての食育の推進

1) 市民協働によるくまもと食育市民運動の展開口 ～みんなで進めよう「くまもとの食育」

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	H26 取り組み内容	H26実績	今後の予定
熊本市民健康フェスティバル等各種イベントへの参加	熊本市食生活改善推進員協議会	熊本が行う各種イベントへ参加し、市民啓発を実施。	食と健康フェア2014、熊本市民健康フェスティバル、ふれあい収穫祭、田崎市場感謝祭、熊本城マラソン等参加	継続実施
すこやか食生活改善講習会		熊本市委託事業。生活習慣病予防を目的とした献立の普及伝達を行う調理実習(または試食)。あわせて、食事バランスガイドの普及を行った。	市内94校区で1回ずつ実施 参加者：2,198人	継続実施
おやこの食育教室事業		主に、幼児期・小学生の親子を対象に、親子クッキングを行いながら、栄養のバランスのよい食べ方などの啓発を実施。(担当支部を決めて実施)	市内2校区で実施 参加者：延べ40人	継続実施
男性のための料理教室		男性も自らの健康に気を配り、元気に暮らしていくことができるよう、自立支援と生活習慣病予防を目的に実施。30歳以上の男性・高齢者対象(担当支部を決めて実施)	平成26年10月10日実施 参加者：28人	継続実施
子育てサークル等での食育活動		保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校・地域の子育てサークルなどで、食育活動・子育て支援を実施。	実施回数：987回 参加者：延べ10,068人	継続実施
生活習慣病予防		メタボリックシンドローム等の生活習慣病を予防する活動を実施。	実施回数：4,258回 参加者：延べ20,546人	継続実施
高齢者の健康・食生活		高齢者家庭へのふれあい一皿運動、福祉施設などへの訪問活動など、高齢者の健康保持・増進に関する活動を実施。	実施回数：1,774人 参加者：12,293人	継続実施
エコレシピチャレンジ講座開催		熊本が作成したエコレシピ集に掲載している献立の普及とごみ減量等の環境保全について市民啓発を実施。	実施回数：39回 参加者：延べ941人	継続実施
歯たちの健診	熊本市歯科医師会	熊本市内の大学の学園祭等にて、無料歯科健診をし、その中で食育に関する指導も行う。	平成26年度は、11月9日に「県立大学」で実施。 健診者は74名	今年度も昨年同様、実施予定
歯の祭典(ウエルバルくまもと)		歯の祭典(イベント)を継続して実施。歯科相談と併せて食育についても啓発を行う。	平成26年6月8日(日)開催。 来場者数は延べ1,773名 講演会は55名	平成27年5月7日(日)開催
熊本市子ども文化会館での無料歯科相談		名称は「歯っぴーキッズ」子どもの健康についての啓蒙活動の一環。無料歯科健診で、その中で食育に関する指導も行う。(例：断乳の時期、間食、ジュース、ファストフード、噛む回数等)	平成26年6月1日(日)開催。 乳児：13名、幼児：28名 小学生：23名、中学生：1名 高校生以上：14名	平成27年5月31日(日)開催
熊本市民健康フェスティバル		歯科相談・健診、口臭測定、ブラッシング指導、フッ化物洗口を実施する。	平成26年9月27日(土)・28日(日)開催。 9月27日(土)相談：65名、口臭測定：146名 9月28日(日)相談：61名、口臭測定：128名	開催予定ではあるが、日程・場所は未定
歯磨き巡回指導		歯科相談、ブラッシング指導等の巡回指導を実施する。	平成26年度は、6月に5校、11月に5校	平成27年度は、6月に5校、11月も5校予定

名称	関係団体	H26 取り組み内容	H26実績	今後の予定
高齢者対象 「お口の健康講座」		講話・健口体操・口腔機能向上ゲーム テーマ「お口を健康にして楽しい食事を！」	平成26年12月13日 出水南コミセン 地域高齢者19人	継続実施
歯の祭典	熊本県歯科衛生士会	歯科衛生会コーナー・お口の介護予防 コーナー 「噛むことと唾液の大切さ」 体験：唾液緩衝テスト・咀嚼力測定テ スト 実践：唾液腺マッサージ・口腔機能向 上お口の体操 口腔ケア指導 歯科保健指導・歯磨き指導	平成26年6月8日 ウエルパルクまもと 来場者174人	継続実施
いきいき未来のつどい		歯科衛生士会体験コーナー 「お口は健康の入り口」～噛むことと唾 液の大切さ～ 咀嚼力ガムテスト・唾液PHテス ト・唾液腺マッサージ・舌体操・歯磨き 指導	平成26年12月7日 清水公民館 来場者22人	継続実施
熊本市民健康フェスティバル		歯科衛生士会コーナー 体験：位相差顕微鏡・唾液緩衝テスト 歯みがき指導 在宅コーナー 口腔ケア・口腔機能向上の実践・相談	平成26年9月27・28日 パレア 来場者延1184人	継続実施
健軍医商連携事業 「健康フェア」		健軍商店街における栄養食事相談の実施 及び資料等の配布	栄養相談件数46件（延人数）	相談件数の増加 を目指す
市民啓発事業（協働）		はあもにいフェスタの開催 熊本県つばさの会熊本支部、日本3B体 操協会熊本県	講演会 参加者37名	一般の方に講演 内容を検討し、 必要な情報発信 ができるように していく。
熊本市民健康フェスティバル	熊本県栄養士会 熊本市地域事業部	栄養食事相談コーナーを設置する。（食 品のディスプレイやパンフレット等の資 料配布・食生活診断）	栄養相談件数362件（延人数）	相談者のニーズ に合った資料の 作成を行い、多 くの方に食事、 栄養についての 情報提供を行 う。
熊本市子どもの食育推進ネッ トワーク事業		熊本市食育推進ネットワーク各エリアご と、実務者会議、代表者会議への参加	代表者会議（1回）、実務者会議 （3回）、各エリアごとの研修会 （3回）、全体研修会（2回）の参加	昨年同様に、各 エリアごとの会 議、研修会等へ の参加をし、各 団体との連携を 図っていく。
食育推進「母子福祉支援活 動」 ～楽しいクリスマス料理～		クリスマス親子料理教室を開催。調理実 習と栄養講話を実施。	栄養士会関係（7名）、母子会（31 名）の参加	例年通り、親子 料理教室の開催 （調理実習、栄 養講話を予定）
熊本市子どもの食育推進ネッ トワーク	熊本市民生委員児 童委員協議会	協議会として、熊本市子どもの食育推進 ネットワークに登録、参加し、代表者・ 実務者会議、年2回の研修会などに積極 的に参加。会長会議で子どもの食育につ いて研修を行う。	各単位民児協より1名以上がネッ トワークに参加し、手作りのおやつや 料理づくりを体験し、それを各校 区に持ち帰り、行事等に参加して、 地域の子どもたちやその保護者へ、 子育て支援を通じた食育の支援を実 施。	継続実施
食育の推進	熊本市PTA協議会	①熊本市PTA研究大会 全体講演会 「食を学ぶのか？ 食で学ぶのか？」 講師：九州大学准教授 比良松道一 氏 ②学校給食に関する各種あて職の会への 参加及び報道 ③単位PTAでの研修会	①H26.11.29実施 参加者約800人 ②あて職数：8件 関わる人数：の べ13人 会合：のべ約45回 ③事務局把握の実施校は2校。（例 年、講演会等を数校実施と思われ る）	継続実施
食育の推進	熊本市私立幼稚園 協会	関係機関等からの食育に関する情報や研 修会案内の配布。		熊本市私立幼稚 園PTA連合会 と連携し、食育 に関する研修会 の開催

Ⅲ 市民運動としての食育の推進

2) 食育支援団体のネットワークの整備

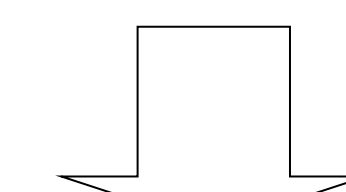
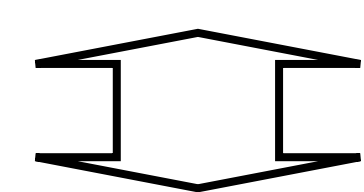
【成果指標】

No.	項目	H24 基準値	H30 目標
12	「熊本市子どもの食育推進ネットワーク」における連携活動した団体等の割合 * 保育園・幼稚園が他団体と連携して食育に取り組んだ割合	37.6%	60%

【取り組むべき施策】

21) 関係団体とのネットワーク体制の整備と情報の一元化
------------------------------

【具体的な取り組み(行政)】



No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	1次計画(H24)実績	評価指標等		進捗状況等	
						H30 目標	H25 実績	H26 実績	H26 業務内容等
64	食の安全安心・食育推進会議	健康づくり推進課 食品保健課 関係各課	熊本市食の安全安心・食育推進計画の進行状況の検証・評価を行う。	開催回数	6回(作業部会含む)	継続実施	2回	3回	平成26年9月1日に推進会議開催 平成27年1月16日に食育推進部会開催 平成27年1月20日に安全安心部会開催
65	熊本市子どもの食育推進ネットワーク	健康づくり推進課 各区役所 保健子ども課	食育に携わる関係団体(保育所・幼稚園・地域保健福祉課ボランティア等)からなるネットワークで、地域における食育活動を展開する。	ネットワーク加入団体(者)数	314団体	増加	320団体	321団体	代表者会議(1回)、実務者会議(3回)、全体研修会(2回)、区役所単位の地域研修会を開催し、関係団体と連携した食育活動の推進。
66	熊本市子どもの食育推進ネットワーク全体研修会	健康づくり推進課 各区役所 保健子ども課	食育の推進を目的としたネットワークメンバーの情報交換と資質向上のための研修会を開催。(年2回)	研修会参加者数	466人	増加	484人	404人	食育の推進を目的としたネットワークメンバーの資質向上と市全体で情報を共有するための研修会を開催(年2回)。
67	熊本市子どもの食育推進ネットワーク地域研修会	健康づくり推進課 各区役所 保健子ども課	地域の食育担当者が連携を強化し食育推進活動を活発化させるため、地域のより身近な所で食育を展開するための情報交換と資質向上を支援。	研修会参加者数	592人	増加	584人	538人	地域の食育担当者が連携を強化し食育推進活動を活発化させるため、地域のより身近な所で食育を展開するための情報交換と資質向上を支援。



IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

1) 生産者と消費者の交流

【成果指標】

No.	項目	H24 基準値	H30 目標
13	農林漁業体験を経験した市民の割合の増加	37.7%	50%

【取り組むべき施策】

22) 生産者と消費者の交流会の開催
23) 農林漁業体験等を通じた食育活動の推進

【具体的な取り組み(行政)】

No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	1次計画(H24)実績	評価指標等			進捗状況等
						H30 目標	H25 実績	H26 実績	H26 業務内容等
68	生産者との給食交流会	健康教育課	給食物資の生産者と児童・生徒の交流と会食を実施。交流給食を通して生産者とふれあい食育の推進を図る。	交流会の実施	実施	継続実施	実施	実施	給食物資の生産者と児童・生徒の交流給食を実施し食育の推進を図った。
69	食農体験事業	各区役所 農業振興課	各区の特性を活かした収穫や調理など体験型の事業展開を通して、食と農の理解促進を図る。	-	実施	継続実施	実施	-	各区の特性を活かした収穫や調理など体験型の事業展開。平成25年度で事業終了。
70	すこやか交流広場管理運営事業	健康福祉政策課	子ども農園の貸付と、多目的広場の管理、運営。植え付け祭、収穫祭等、イベントを開催し世代間交流を促進。樹木の管理、農園の自主管理を推進する。	農園利用率	82%	100%	74%	78%	子どもふれあい農園や多目的広場の貸付、管理運営を行うことで、農業体験を通じた自然とのふれあいや世代間交流を図る。
71	学校農園等での栽培活動	指導課	学校農園や休耕田、プランター等を活用し、子どもたちが栽培・収穫等を体験する。	実施率	100%	100%	100%	100%	全校に需用費を配当し、各学校の実態に応じて農業体験や栽培活動、緑化活動等の推進。また、校外農地を使つての体験に取り組む学校に対して、農地借用の謝礼金、及び指導者に対する指導料の支払い。
72	市民と水産業との交流促進	水産振興センター	市民と漁業者との交流を通じて、本市水産業の紹介、漁業体験活動などを推進する。	小学生等参加者数	61名	増加	32名	26名	市内小学校児童を市地先漁場に招き、採貝及び干潟体験を実施。
73	ファミリー農園	各区役所 農業振興課 農商工連携推進課	昭和58年の開設以来、平成23年4月現在13農園(881区画)が開園している。今後は農園開園者自らが管理運営する農園への移行を完了し、市としては、開園支援を実施。	利用区画数	885区画 (14農園)	1,500区画 (25農園)	865区画 (14農園)	858区画 (14農園)	農園数に変更はなかったが、農園内の環境整備のために区画数の調整がされ、区画数が減少した。しかし西区、南区で各1箇所ずつ新規開設の相談があつているため今後も開園支援を実施。

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	H26 取り組み内容	H26 実績	今後の予定
「食と農・くらしと環境ワーキンググループ」における活動	エコパートナーくまもと (環境パートナーシップくまもと市民会議)	行政及び関係団体と協力し、環境保全及び安全安心な食について啓発活動を実施。	同左	継続実施
あぐりキッズスクール	JA熊本市	前年同様に農業や食の大切さを伝えるため、取り組んでいくもの。	全5回の体験体験を実施。72名の子どもが農業や食の大切さを学んだ。	継続実施
J A熊本市夢未来農業祭	JA熊本市	夢未来農産物の販売。女性部、青少年部によるもち等の販売。	同左	継続実施

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

2) 地産地消の促進

【成果指標】

No.	項目	H24 基準値	H30 目標
14	進んで地元農産物を購入する市民の割合	69.4%	80%
15	学校給食における地元農産物を使用する品目数	43品目	45品目

【取り組むべき施策】

24) 「くまもとらしさ」を生かした地産地消の推進  
25) 学校給食や飲食店等への地元産物のPRと活用促進

【具体的な取り組み(行政)】

No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	1次計画(H24)実績	評価指標等		進捗状況等	
						H30 目標	H25 実績	H26 実績	H26 業務内容等
74	「ひご野菜」の認知度向上及び普及拡大	農商工連携推進課	熊本に因むストーリーが展開できる野菜等を掘り起こし、観光と連携した地産地消の展開を図る。	啓発活動の実施	実施	継続実施	実施	実施	ひご野菜普及については、行政主導から民間レベルの活動に広がりを見せているため、民間が行う取り組みを支援していくと共に、各種イベントでのPRやレシピ集の作成等により認知度の向上を図った。(指定品目:15品目)
75	保育所給食における地産地消の推進	保育幼稚園課	食材は可能な限り、熊本市産、県内産、九州産、国内産を使用している。	地産地消の推進	実施	継続実施	実施	継続実施	食材は可能な限り、熊本市産、県内産、九州産、国内産を使用。
76	学校栄養職員等の生産地視察	健康教育課	給食関係者が学校給食使用農産物の生産地を視察し食育に活用する。	生産地視察	実施	継続実施	実施	実施	給食関係者が学校給食使用農産物の生産地を視察し児童生徒に向け指導資料を作成。
77	「農とびあ」地域の活動支援	農業政策課 各区役所 農業振興課	一定の地域を「農とびあ」として指定し、その地域における農業者等の主体的活動を支援し、地産地消の拠点づくりを推進する。	「農とびあ」指定地域数	6地域	6地域	6地域	7地域	H26年度に東門寺地域を新たに指定。計7地域(西里、中島、河内、飽田、守富、山本、東門寺)を地産地消の拠点とし、各地域で農業体験交流等を実施した。
78	学校給食における地元産物の利用	健康教育課	「食育の日」の取り組みとして市産品の献立によるメニューを実施し、児童・生徒に指導するための資料集を作成し、全校に配付している。 ※毎月19日を「ひごまるデー」とし、市産品の献立によるメニューを実施	実施品目数	43品目	45品目	41品目	43品目	「食育の日」の取り組みとして市産品を使用した献立を実施し、児童・生徒に指導資料を作成し各学校が活用できるよう情報を提供。
79	農産品直売所支援	農商工連携推進課	市内直売所で組織する「熊本市農産物直売所連絡協議会」の活動を通じ、周年栽培への取り組みや合同販売会等の実施により、直売所間のネットワーク強化や販売促進を図る。	直売所設置箇所数	16箇所	増加	15箇所	15箇所	熊本市農産物直販所連絡協議会ひごまる会を中心として、各種イベントに出展し、農産物の販売会を実施。

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	H26 取り組み内容	H26 実績	今後の予定
小・中学校及び福祉施設等へ熊本市産ノリを提供	熊本市漁業後継者クラブ	熊本市の小学校(健軍、池の上)に熊本市産の焼海苔を配布し、PRを行った。	熊本市の小学校(健軍、池の上)及び京陵共同調理場に熊本市産焼海苔を配布し、PRを行った。	継続実施

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

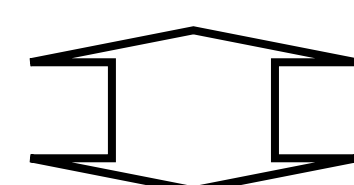
3) くまもとの食文化の伝承

【成果指標】

No.	項目	H24 基準値	H30 目標
16	家庭での食事に郷土料理等を取り入れている市民の割合	49.2%	70%

【取り組むべき施策】

26) 伝統料理や郷土料理等に関する情報提供の促進
27) 関係団体との連携による食文化伝承に関わる活動の推進



【具体的な取り組み(行政)】

No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	1次計画 (H24)実績	評価指標等		進捗状況等	
						H30 目標	H25 実績	H26 実績	H26 業務内容等
80	郷土料理の実施とそれに伴う啓発活動	健康教育課	食文化の伝承及び啓発を目的に、学校給食献立への郷土料理導入を月1回実施。	実施割合	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	学校給食献立へ各県の郷土料理等を取り入れた献立を月1回実施し、郷土の歴史・風土・産業へ興味関心を高めるよう努めている。
81	保育園児と地域住民との交流会	保育幼稚園課	地域の住民との交流会にて、団子汁会や芋煮会を行う等、郷土食の継承に努めている。	交流会の実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	地域の住民との交流会にて、団子汁会を行う等、郷土食の継承に努めている。
82	郷土料理等を掲載した給食レシピ集の発行	健康教育課	郷土料理も含めた学校給食のレシピ集を作成し、学校へ配布し、親子料理教室等での活用や家庭啓発を行う。	作成配布	実施	継続実施	実施無し	実施	これまで作成した学校給食のレシピ集を食に関するイベントにおいて紹介、販売したり、親子料理教室等での活用や家庭啓発を実施。
83	郷土料理啓発活動	健康づくり推進課	熊本の郷土料理・祭事料理を食のホームページに掲載・発信する。	ホームページの掲載	実施	継続実施	実施	実施	20品掲載中。

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

4) 食育を通じた環境保全

【成果指標】

No.	項目	H24 基準値	H30 目標
17	ごみを少なくするため「買いすぎ」「作りすぎ」をしないよう心がけている市民の割合	69.9%	75%
18	熊本市の良質な水がおいしさの基になっていると思う市民の割合	80.8%	85%

【取り組むべき施策】

28) 食を通じた環境保全に関する情報提供の促進
29) 環境保全体験を通じた食育活動の推進

【具体的な取り組み(行政)】

No.	名称	関係部署名	内容	評価指数	1次計画 (H24)実績	評価指標等			
						H30 目標	H25 実績	H26 実績	H26 業務内容等
84	環境にやさしい店の推進	環境政策課 (温暖化対策室)	ごみ減量リサイクルの推進に積極的に取り組む小売店を環境にやさしい店「よかエコショップ」として認定し広報していく。	認定店舗数	149店舗	増加	149店舗	149店舗	環境にやさしい店「よかエコショップ」認定店舗数を増やすとともに、市民への広報・啓発を行いグリーンコンシューマーの育成。
85	水質監視	水保全課	地下水等に関する水質監視	監視率	100%	100%	100%	100%	水質汚濁防止法に基づき、地下水の水質常時監視を実施。
86	広域水保全対策	水保全課	農業体験や交流ツアー、森林ボランティア活動などを通じて地下水かん養域と地域との交流や連携を深めることで熊本地域の地下水の長期的な保全を保つ。	参加人数	357人	450人	412人	257人	農業体験や交流ツアー、森林ボランティア活動などを通じて、地下水かん養域と地域との交流や連携を深めることによる熊本地域の地下水の長期的な保全。
87	小学校への副読本配布	ごみ減量推進課	小学4年生が社会科で初めてごみ問題を学習する際の副読本として、本市のごみ事情をやさしく解説した「ごみとリサイクル」を作成し、市内の小学校に配布している。	配布人数	8,100人	8,500人	8,300人	8000人	小学4年生が社会科で初めてごみ問題を学習する際の副読本として、本市のごみ事情をやさしく解説した「ごみとリサイクル」を作成し、市内の小学校に配布。
88	生ごみ減量対策	ごみ減量推進課	「生ごみにしない」、「出でしまった生ごみをいかに減量するか」に重点をおいて、生ごみ減量対策に取り組む。	新たに生ごみ減量化に取り組んだ人数	1,927人	2,500人	2,108人	1958人	ダンボールコンポスト講座、エコレシピチャレンジ講座開催、生ごみ処理機の購入費助成、イベント時の啓発等を実施。
89	ごみ減量化・リサイクル推進ポスターコンクール	ごみ減量推進課	小中学生を対象に、ごみ減量・リサイクルの推進を題材にしたポスターコンクールを行い、その優秀作品を表彰している。	応募点数	1,161点	1,200点	658点	659点	市内の小中学生を対象に、ごみ減量・リサイクル推進の必要性についての関心を高めてもらうため、ごみの減量やリサイクルに関するポスターコンクールを実施。
90	環境保全に関する市民啓発	環境総合センター	環境保全に関する学習会を開催し、市民啓発を行う。	参加者数	7,857人	増加	5,077人	5,209人	主に小中学生やその保護者等を対象に『体験型』の環境学習会を開催。
91	環境にやさしい農業の推進	農商工連携推進課	エコファーマ、有作くん等、環境にやさしい農家の戸数	経営体数	1,891経営体	2,090経営体	1,937経営体	1,804経営体	エコファーマ認定・更新の推進。 有作くんの認証促進。

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	H26 取り組み内容	H26 実績	今後の予定
「食と農・くらしと環境ワーキンググループ」における活動	エコパートナーくまもと (環境パートナーシップくまもと市民会議)	行政及び関係団体と協力し、環境保全及び安全安心な食について啓発活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下水保全</li> <li>その啓発活動</li> <li>アサリ、シジミ 二枚貝の生産</li> <li>熊本の地下水を育む農産物の販売/地下水を活かす《ブランドづくり》</li> <li>地下水を育むお米『水の恵み』販売&amp;PR</li> </ul>	

V 食育を通じた食の安全・安心の確保(共通)

1)食の安全性や栄養等に関する理解の促進口 ～安心して食生活を送るための食育～

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	H26 取り組み内容	H26 実績	今後の予定
食の安全安心確保に関する研修会	熊本市農産物直販所連絡協議会	総会時に、関係機関より、農薬の適正利用等の説明を行い、会員の「安心・安全」に対する意識向上を図る。その他、市内の直販所・市産農産物の認知度向上を図る。		食の安全安心確保に関する研修会への積極的な参加